平成 29 年度岡山桃太郎空港の利用実績について

平成 29 年度の岡山桃太郎空港の利用者数は、台北線の相次ぐ増便やソウル線のスケジュール変更により、国際線利用者数が大幅に増加したことから、10 年ぶりに 150 万人を超え、1,521,785 人《対前年度比 105.7%》となった。（以下、《　　》内は対前年度比）

１　国内定期路線

利用者数は好調に推移し、各路線とも前年度を超え、1,254,747 人《102.5%》となった。

（１）東京線

年間を通じて好調であったことから、前年度より増加し、1,085,448 人《101.8%》となった。

航空会社別では、全日空が 656,155 人《100.9%》、日本航空が 429,293 人《103.3%》であり、日本航空は平成 14 年の就航以来最多を記録した。

（２）札幌線

夏期の利用が好調であったことから、全体の利用者数は前年度より増加し、５年連続で７万人を超え、75,130 人《106.4%》となった。

（３）沖縄線

搭乗率８割を超える人気路線であり、４年ぶりの臨時増便も実現したことから、利用者数は前年度より増加し、94,169 人《107.9%》となった。

２　国際定期路線

台北線の相次ぐ増便やソウル線のスケジュール変更により、利用者数が大幅に増加し、開港以来最多の 258,034 人《122.2%》となった。

（１）ソウル線

昨年７月からインバウンド向けのスケジュールとなり、旺盛な訪日需要を背景に利用者数は、５年ぶりに 10 万人を超え、102,007 人《120.0%》となった。

（２）上海線

年間を通じて好調であったことから、前年度より増加し、56,432 人《104.7%》となった。

（３）香港線

本格的なインバウンド路線として、一昨年３月に就航し、同年７月に毎日運航から週２往復となったが、その後は高い搭乗率を維持しており、利用者数は 29,662 人《73.5%》となった。

（４）台北線

一昨年７月に週３往復で就航し、昨年度の相次ぐ増便により先月末には毎日運航が実現した。増便後も利用者数は好調に推移しており、69,933 人《218.9%》と大幅増となった。

３　チャーター便

国内外に 99 便が運航され、利用者数は 9,004 人《203.7%》となった。

国際チャーター便は、高雄（台湾）からの連続チャーターなど 52 便が運航され、利用者数は大幅に増加し、6,095 人《292.6%》となった。

国内チャーター便は、北海道、与那国島・宮古諸島など 47 便が運航され、利用者数は 2,909 人《124.5%》となった。

平成２９年度岡山桃太郎空港利用実績集計表

１　国内定期路線　　（単位:人，%）

路　　線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
東 京 線	1,085,448	+19,289	101.8	72.8
札 幌 線	75,130	+4,521	106.4	72.1
沖 縄 線	94,169	+6,868	107.9	81.7
計	1,254,747	+30,678	102.5	73.3

２　国際定期路線

路　　線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
ソウル線	102,007	+17,006	120.0	70.0
上 海 線	56,432	+2,523	104.7	66.5
香 港 線	29,662	▲ 10,687	73.5	82.2
台 北 線	69,933	+37,981	218.9	83.4
計	258,034	+46,823	122.2	73.6

※台北線は、H29. 6.16～増便（３往復／週→４往復／週）
H29.10.31～増便（４往復／週→５往復／週）
H29.12.20～増便（５往復／週→６往復／週）
H30. 3.25～増便（６往復／週→７往復／週）

３　チャーター便

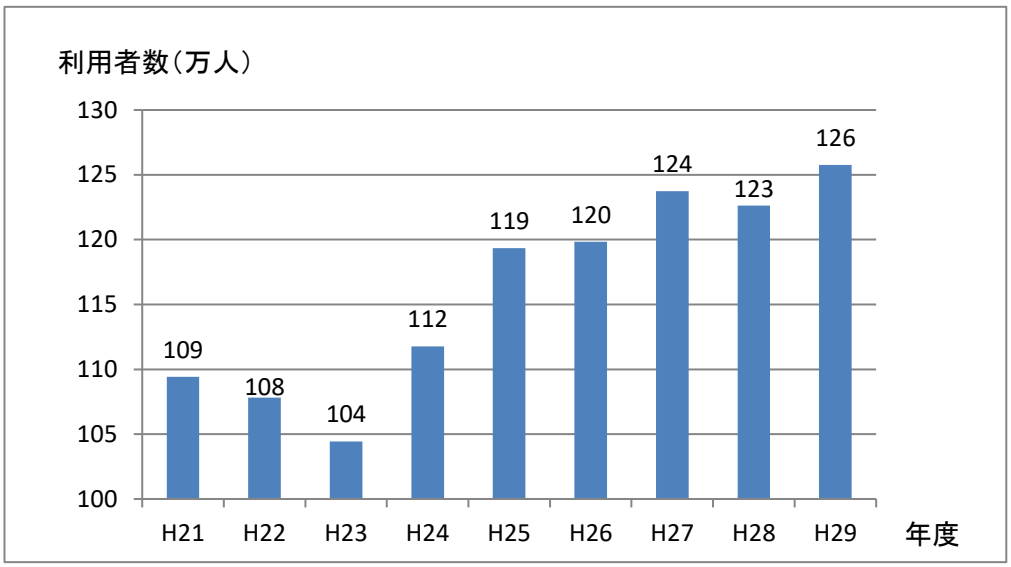
路　　線	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
チャーター便	9,004	+4,584	203.7	72.4

４　総　　計

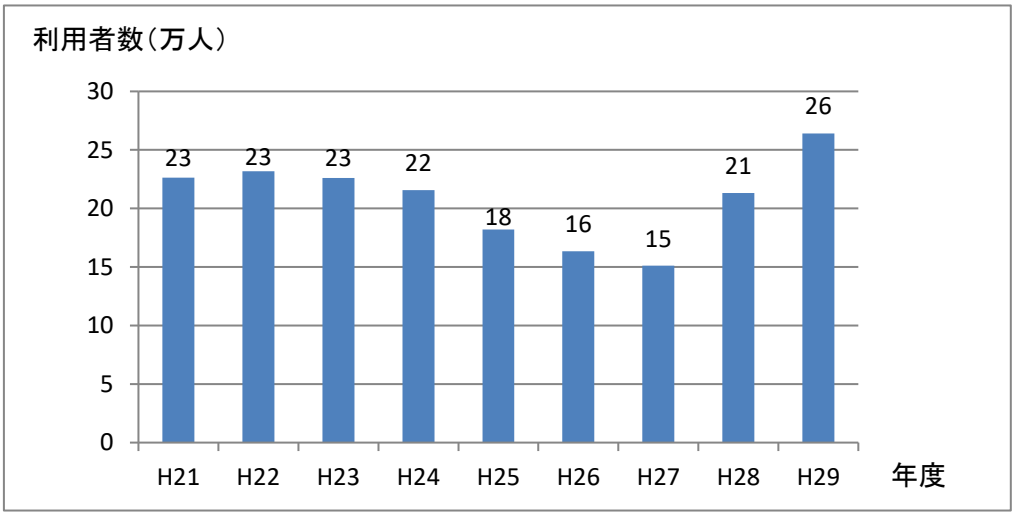
	利用者数	対前年度増減	対前年度比	搭乗率
総　　計	1,521,785	+82,085	105.7	73.4

岡山桃太郎空港利用者数の推移

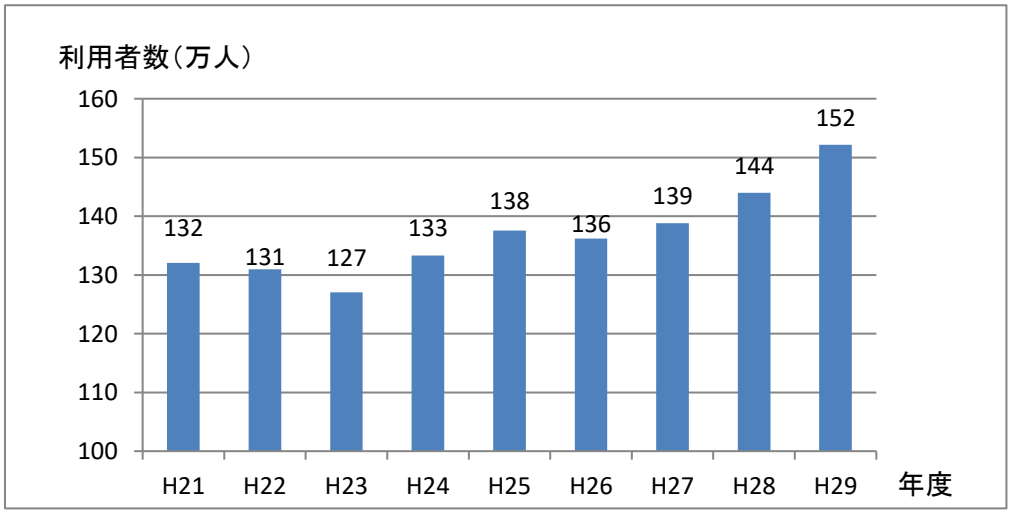
1 国内線



2 国際線



3 国内線＋国際線



※利用者数には、チャーター便を含む。